



發行所 常磐新聞社
電話 一三三九番
日十二月九



電話 一三三九番
電話 一三三九番

小名濱郵便 局舎 二 改築の爲め隣に移轉 二 約四ヶ月を要す

小名濱郵便局舎は本町の發を隣家の稲屋に移し明二十日同夜東京市青年會に泊展に伴へ狹路を告げ改築の一日より事務一際を取扱ふ翌二十五日には市内の各神社佛閣に參詣して出征勇士の武選長久祈願をなし同日歸町する、費用は約百圓

武穴の殊勳者、自衛隊長 小名濱の産んだ北山 大尉

武漢防衛の堅壁武穴要塞攻路戦は十六日午前六時四十分陸隊新銳瀨木部隊の〇〇地點敵前上陸によつて火ふたが切られ此日午前六時北山大尉指揮の〇〇名は決死隊を編成し自衛隊として、夕陽を衝いて江岸に上り、鬼人の働きは敵味方を呑むの概があり而して十七日午前八時三十分武穴城に進入城頭高く軍艦旗は挿樹てられた

學校基本金に五十圓 亡父の遺志で内山氏が

小名濱町中島内山治徳氏は草野村赤沼に本籍を有し先般死亡せる父伊吉の遺志昭和六年から平商業學校に依り小名濱小學校に基本金として金五圓を寄附した女女子さん(三)と再起を祈つてゐる

多門未七人 本市へ謝電の答禮

本市では去る十八日の滿洲事變記念日に當り時の多門師團長房子未七人に謝電を發したがこれに對し夫人から左の如き答禮があつた

ケープル線 警察の四名検査 内郷村警察署検査隊夫野

年生れの鉄夫ちゃんがる(三)同高秋徳平(三)の兩名は同僚の十九少年二名と語り去月同郷野田坑電氣材料倉庫からケープル線三百外を盗み又去る一日にはケープル線の被覆鉛を鋸で二貫外を剥ぎ取り同村古物商高橋義七方に賣却した外四回に亘り同倉庫からケープル線類五十餘圓分を撤つ拂ひ何れも前記高橋に賣りつけ遊興に費消したと發覺四名共二十日平署に検査された

無錢飲食 内郷村富太郎警察署夫田

時局下後奉仕の當面者たる方面委員を中心とした方面委員大會は来る十月十二日午前十時より縣主催の下に平市公會堂に開催する、時頃同村富太郎飲食店を二圓長、方面事業關係市町村吏員等に盛會を豫想さる、

後援會に十八圓 倉坑支柱夫吉田春治(三)

小名濱町石井喜太郎君は、應召され疾病歸郷となつたが、儀別金の内十八圓を國防後援會へ寄附

甲種飛行豫科練 習生採用

十三年度後期甲種飛行豫科練習生の採用試験は横須賀海軍航空隊に於て行つたが本郡下からは四名が合格し、

麻原准尉負傷 本市長橋町青年團二十二名

この殊勳の北山勝男大尉は来る二十四日大バスを驅平市杉山出身兩角部隊麻原は小名濱町横町の産小學つて茨城縣鹿島神宮、千葉吉五郎准尉は名譽の戦傷を被り、

縣主催方面委員大會 平市公會堂に開催

時局下後奉仕の當面者たる方面委員を中心とした方面委員大會は来る十月十二日午前十時より縣主催の下に平市公會堂に開催する、

印刷工數名採用 青年住込二十圓以上を給す

右來談されたし優遇す 小名濱町古港

常磐印刷所 電話(呼)一三三九

急募 一、營業部員數名 右希望者は來談され度 常磐新聞社

印刷の御用命は! 常磐印刷所へ 電話(呼)一三三九番

保証 小名濱海産物卸商業組合 電話七一七番

各位 益々御清榮之段奉賀候 兼テ公告中ノ類刺箱材料讓渡申込ノ件九月三十日締切ノ處申込數殺到ノ爲メヤムヲ得ズ九月十九日ヲ以テ讓渡申込方御斷リ申上候

